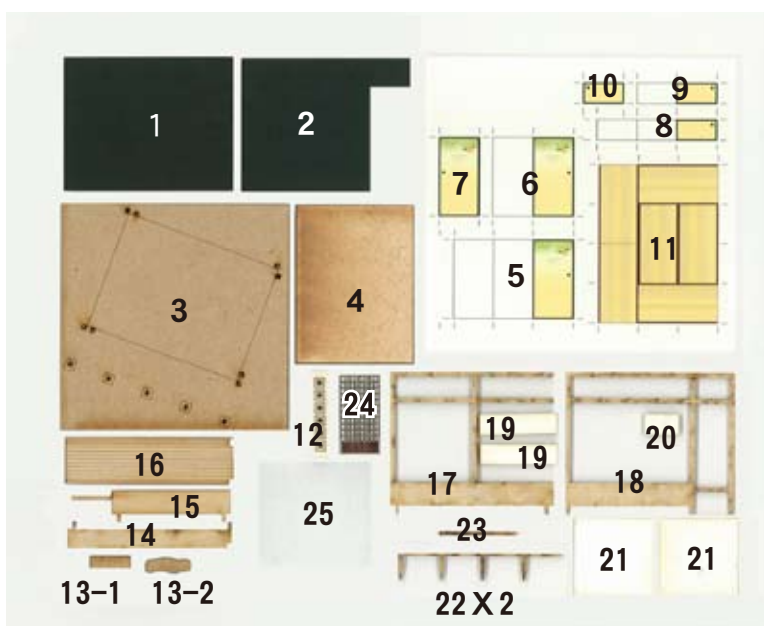


六畳間+廊下のシーン キット組立て説明書

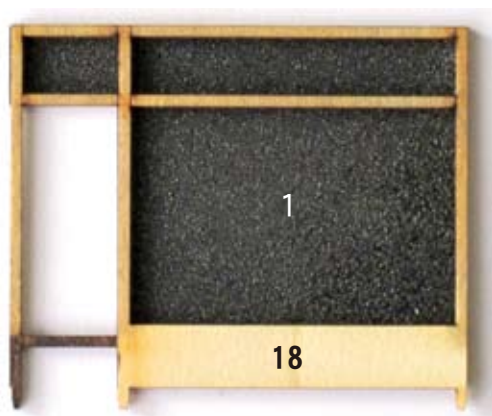
云いたかあーないけどね。もういい加減でお嫁さんをもらって・・・
うるさいなー。云いたくなければいわなきやいいだろ。
そろそろ日も暮れかかってきた日曜日の一コマでした。

プチシーンは限られたわずか約6センチ角のなかにシーンを再現、まるで俳句のように凝縮された情景の楽しみを提供します。

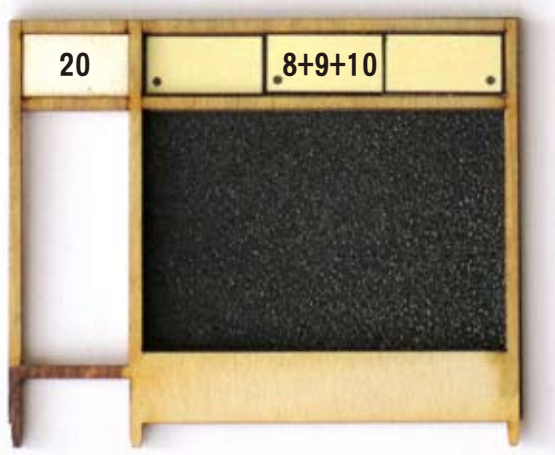


キットの内容：

左上の写真の部品がキットに含まれています。この内、土台（部品番号12）は6個付属の内5個を使用し、1個は予備部品です。22の廊下の脚も2個入っていますが、こちらも1個は予備で、3のベースボードに差込みの際折りやすいのでご注意ください。13のくつぬぎ石は二種類入っているのでお好みの方をお使いください。



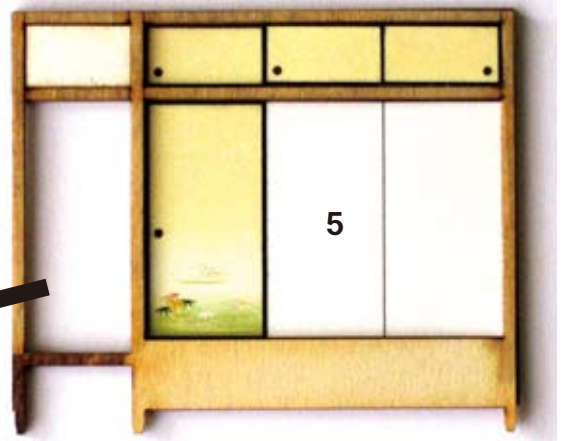
- ① まずは各素材に色をつけます。左の壁板作例では着色にコピックという商品名のデザインマーカーを使用して柱など畳より上の部分は薄いベージュ、廊下の下になる部分はこげ茶で染めました。襖や壁が入る部分はすでにレーザーカットで抜けていますが、はめ込んだ部品の高さを均一にするため、あらかじめ黒紙(1, 2)を貼っておきます。



- ② 壁用の厚紙や襖を落とし込んで接着します。この際壁は白色なので下の写真のようにレーザーカットの際でたスズが目立つこともありますが、消しゴムでこすると取れます。

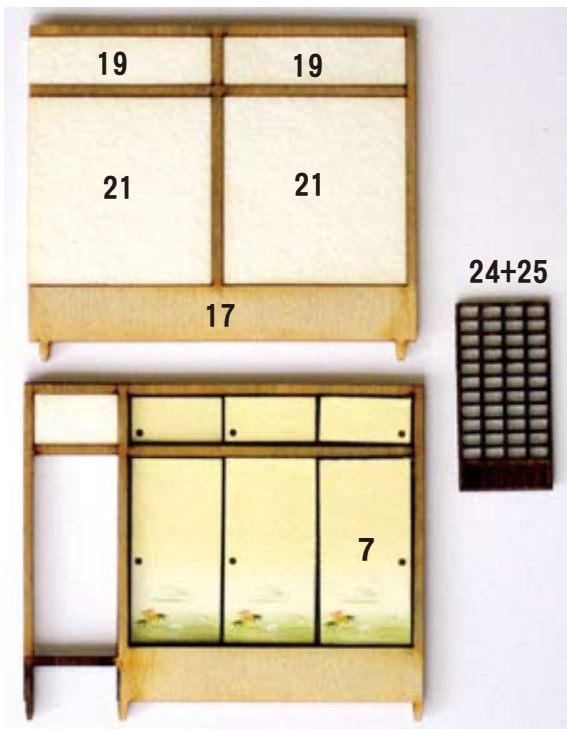


襖貼りは三枚あわせになっているので、最初に一番奥の 5 を黒紙に貼り、次に 6、7 と順に張り重ねます。



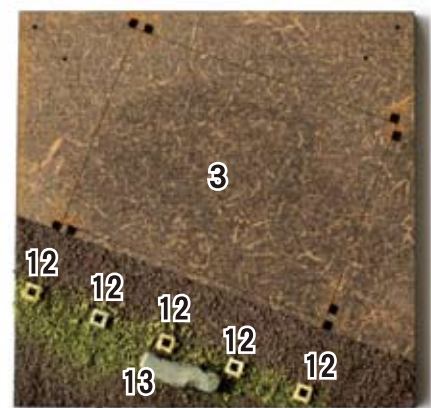
③

- ④ ③ の要領で二枚の壁を作り、24 の障子にも 25 の障子紙を貼ります。



⑤

右の写真は加工したベースボードです。この部品に限らずカットの際の焦げ目



がついていますが、かえって味になるので気にせずクレオス（プラカラー）の黒を 20 倍

程度に希釈した塗料で全体をこげ茶に染めます。乾燥したら 12 の土台やグレーに塗ったくつぬぎ石（13-1 または 13-2）を配置します。 ↗

あとで廊下の柱 22 を差し込むため、土台はベースの穴を案内に正確に貼ります。作例の地面表現はザラつきのある質感のグレインペイントを庭部分のみ塗り、乾燥後にボンドを塗ってからウッドランド・シーニックの緑色のパウダーを撒いてあります。



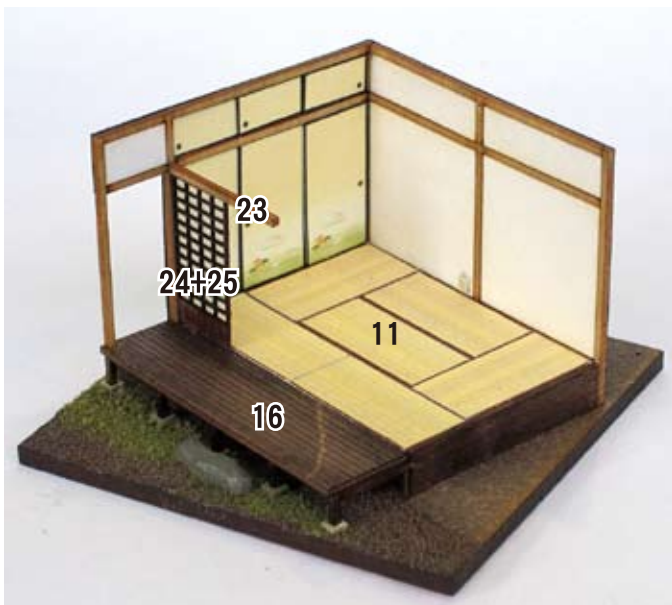
⑥

できあがったベースに二枚の壁をボンドを併用して差込みます。次に壁の角を案内に床下用の厚板を貼ります。



⑦

廊下の脚 22 や 15 を取り付けます。作例写真ではテレビをつけるためコンセント用のプレートが壁についていますが同様にするには襖用紙などの余った部分を使い、コード用の穴もあけておきます。



⑧

16 の廊下を付けた後、11 の畳を切り抜いて張りますが一度に小さく切るのではなく、最初は線の外側ぎりぎりに切り、あとは実際にあてがいながら徐々に小さくします。接着はボンドがよいでしょう。最後に障子と梁をまっすぐつけます。

⑨

これでキットは完成です。裏側はこのように最初に貼った黒い紙になります。後は人形やテレビ、家具など別売り部品を配置してお楽しみください。

テレビ、電灯は点灯する商品もあります。

接着剤のお話

当組立て説明書では「接着にボンド」と書いてあります。通常ボンドとは白い木工用のボンドを指しますが、作例は右写真のタイトボンドを使って組み立てています。これは粘度が適度（日本のより固い）、乾燥が早い、乾燥後にツヤが出ないなど、木や紙を接着するには最適です。さかつうギャラリー取り扱い商品です。



作例に使ったキット以外の部品
(注意書き以外すべてさかつうギャラリー製品)

人形：居眠りおばあちゃん、
晩酌中の男性

家具：テレビ、テレビ台、茶箆筒、
丸型ちゃぶ台（CS製品）

その他：電灯キットLED付き、
白色チップLED(テレビ用)

展示台：角小型展示台(点灯対応)、
ボタン電池セット

*盆栽は発売されていません。

商品のお問い合わせ先： さかつうギャラリー 東京都豊島区巢鴨3-25-13

TEL 03-3949-2893 FAX 03-3949-2886 gallery@sakatsu.jp

<材質表示>：木、紙、MDF

対象年齢 15才以上

MADE IN JAPAN

<http://www.sakatsu.jp>

Sakatsu Gallery 2010